

# HELLO NEWSPAPER

発行所：京都市伏見区桃山井伊  
掃部東町16  
HELLO NEWSPAPER  
京都本社

今年度も「HELLO NEWSPAPER」コースでは、さまざまな活動と体験をしてきた。そのことについて、ここに一部ではあるが紹介する。

本校は、「京都新聞」、「毎日新聞」、「産経新聞」、「読売新聞」、「朝日新聞」の五つの新聞社から毎日新聞を提供して頂いている。また、中学生が手頃に読める新聞として「朝日中学生ウィークリー」も読むことができる。

これらの新聞は、生徒の皆さんが手軽に読めるように二階職員室前に並べられている。これらの記事を読み、その内容を比べることができるので、新たな発見がある。また、社説の意見の違いなどについても知ることが出来る。

また活動の一環として、新聞の記事紹介をお昼休みにしている。これにより、全校の皆さんにその日の一面のトップ記事や、話題の記事について紹介することができた。

## 朝日新聞 京都工場見学

9月8日には、京阪中書島駅から徒歩で朝日新聞京都工場へ見学に行った。そこでは、新聞が印刷される過程や、紙面の秘密について学んだ。

見学の中で、一番印象に残っているのは、カラー写真のヒミツだった。実は赤・青・黄・黒の4色でカラー写真はできているのだ。写真が色付けされている過程を、実際にこの4色のフィルムを重ね合わせて見せ下されたときには驚きを隠せなかった。



【9月8日 朝日新聞京都工場で】

## 大学生とのコラボレーション授業

この授業は、中学生と大学生の小グループで話し合い、新聞についての理解を深めるといふ活動である。

### 【第1回(10月25日)】

1回目の授業では、新聞広告について、どんな人ターゲットにした広告か、起用されているタレントについて、なぜその人を起用したかについて考えた。

ここから広告とは、その商品を売りたいターゲットに合わせて作られるものであるということも学んだ。そして発展学習として、附属桃山中の広告を、小学6年生と本校を受験させたい保護者向けの二つで考えた。小学生向けの広告は、例えば文化祭の写真や、仲間と写った写真を使い、いかに学校生活が楽しいかを伝えた。一方、保護者向けは、真剣に勉強をしている写真を使い、いかに学習に力を入れているかを伝えた。そして、これらの写真に合うキャッチコピーを考え、整理した。

### 【第2回(12月1日)】

2回目の授業では、7月に行った職場体験の職場をPRする広告を作った。例えば、龍谷大学の図書館では、大学生や教授の研究を支えているところというコンセプトで、「学生の頭脳をつくる 龍谷大図書館」というキャッチコピーを考え、また、文化財保護の広告では、遺跡から見つかった出土品に直接触れられる職場ということで、「歴史に触れる仕事 木津川市教育委員会文化財保護室」というキャッチコピーを考え、考えた。

この授業を通して、企業のアピールポイントを考え、それを短いキャッチコピーにする面白さを味わうとともに、企業の販売、PR戦略についても学んだ。京都教育大学の社会科学の大学生との協働学習を通して、大学生からさまざまな刺激を受け、有意義な時間をもつことができた。



【大学生とのコラボレーション】

## グループ研究

このMETで毎年行っている活動の中にグループ研究がある。今年度は、次の4つの研究グループに分かれて研究した。

- A、一面の紙面構成について
- B、各社の社説の相違について
- C、見出しについて
- D、4コマ漫画について

これらについて、研究の動機、研究の内容(記事の分析を中心に)、研究の成果と課題をA4用紙2枚以上にまとめた。

活動時間は少なかったが、これらの研究を行うことにより、新聞への関心が深まり、記事の内容を理解し、研究レポートとしてまとめる力がついたことがこの活動での成果である。

## 新聞記者の来校

今年度は、読売新聞大津支局から川崎陽子記者と黒須定雄記者に講演に来ていただいた。

前半は、新聞記者の仕事についてお話を聞き、後半は、「窃盗、住居侵入容疑事件の被疑者逮捕」の仮想記事をお二人に指導していただきながら実際に書いてみた。記者の方から、直接アドバイスを受けながら書くことで、多くの気づきを得ることができた。

ちなみに川崎記者は桃中の卒業生で、私たちの先輩にあたる方だ。私たちは、社会で活躍されている先輩の姿を見て、将来の自分像を少し描くことができた。



【記者の方からお話をうかがう】

## 100ページの学びと成果

私たちは週2時間という限られた時間の中で、様々な人や考え方から教えを受け、それによって将来の「生き方」へとつながる4つの大きな学びを得ることができた。新聞を読み、時代を読み解く力「メディアリテラシー」・グループで互いに学び合う力「コラボレーション」・ピアリティ・自ら調べ、学びを深める力「リサーチアビリティ」・自分の意見を整理して、相手にわかりやすく発表する力「プレゼンテーションアビリティ」である。

また、これら以外にも自分の「視野を広げる」ということも学ぶことができた。個人はもちろん年齢によっても視点はまったく違い、そして新聞社によっても意見や論調は違う。自分の意見を持ちつつ、他の意見にも目を向け、広い視野を持つことが大切だとわかった。

「発言力」や「対話力」、「気力」は、HELLO NEWSPAPERの活動の中で得た力である。これらは、社会の中で生きていくための基礎となる力だ。たくさんの人々と接していく中で、これらの力の重要性を再確認し、より確かなものにする事ができた。特に「気力」では、作業が思うように進まないときにもあきらめず、最後までやりぬく姿勢が身についた。そして同時に、完成したときの達成感も味わうことができた。

これらの学び、そして、HELLO NEWSPAPERの活動の中から得た力を、社会の中で生きていくこれからは発揮できたいと思う。

協力者

者

作成者